



第188号
編集発行
愛知学院大学
事務局 庶務課
☎ 470-0195
愛知県日進市岩崎町
阿良池12
☎ 電話 (0561) 73-1111

「名城公園

キャンパスの開設」

学院長 小出忠孝



新年明けましておめでとう
ございます。平成26年の新春



皆様にはお健やかに迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。
愛知学院は本年創立138周年を迎え、中部地区で最も古い歴史と伝統をもつ私学であります。大学は開学60年

が、将来の高等教育の重要性を予見して戦後、東海地区でもっとも早く新制大学を創設し東海地区の教育を先導して以来、私立大のリーダー校となっております。現在私は全国の私立大学398校の加盟する日本私大協会の全国の副会長、中部地区の支部長に選任され、私立大学のリーダーの一人として私学振興に努めています。本学は昨年経済学部を新設した結果、9学部18学科、大学院9研究科、短大1学科に、学生1万2千5百名を擁する中部地区で最大級の規模と内容を誇る私立の総合大学となり、社会的責任は益々大きくなってきます。

「名城公園キャンパス新設」

近年、郊外の大学の都心回帰の流れが盛んになってきました。本学も一昨年より開発を進めてきた名城公園キャンパスは、名古屋市の中心にあり、しかも名城公園の東に隣接する静かな環境で、教育研究に最適な地区であります。その上、地下鉄名城公園駅の前にありJR東海道線・中央線、名鉄、近鉄等すべての主要鉄道に直結しているため交通の便は最高で、名古屋近郊の主

「高等教育の改革」

現在わが国では人口・産業・社会の各構造が大きく変化している上、世界的な経済不況の波に見舞われ大変厳しい状況が続いています。さらに一昨年の春の東日本大震災、福島原発事故の突発により、わが国は未曾有の危機に晒されてきました。しかし社会は本格的知識基盤社会を迎えて、

要都市から30、40分以内の所にあります。この地区に既設の商、経営学部と昨年新設した経済学部、即ちビジネス系3学部の2学年以上の専門課程の教育を今春より開始します。現在キャンパスのシンボルである10階建の講義室・研究室棟を中心に、講堂・大教室棟、図書館・PC教室棟、食堂・学生ホール棟を建設中ですが、建物の建築工事は終了し、現在は設備工事、内装工事中です。教育設備としては最新のAV設備、他キャンパスとの遠隔授業システム、双方向の授業を可能にするアクティブラーニング教室、一人またはグルーブの学習効果を深めるラーニングコモンズの開設等、教育設備は最新です。3月末に竣工式を行い4月より開講します。その結果本学は法人本部・歯・薬学部のある名古屋市内の補元・末盛キャンパスと、名古屋市郊外の文系・社会科学系学部のある日進キャンパスに次いで、第3のキャンパスの誕生です。躍動する社会と密接な連携のもと、他学部との協力により、大都市名古屋の知的拠点の構築、さらに官公庁、経済界及び各界との交流拠点を形成します。また市民の生涯学習の拠点として、市民講座の開設等、経済・文化発展の核、社会貢献センターとなる事を目指します。

わが国を繁栄させる為に、高等教育を受けた人材の必要性は益々大々となってきています。質の高い教育により豊かな教養と高度の専門的能力を身につけた人材が益々重要となってきます。しかし近年の18才人口の減少と大学の急増により、大学全入と学生の学力低下を招来していると言われて

この様な大学教育の質の低下に対し、一昨年6月に文科省は「大学改革実行プラン」社会の改革のエンジンとなる「大学づくり」を、昨年5月に教育再生実行会議は「これからの大学教育の在り方について(第三次提言)」を、昨年6月には「教育振興基本計画」を閣議決定し、次々と発表しました。何れも最近の大学教育の低下が強く指摘されているのに対する各大学への教育改革の勧告であります。最近の社会の求める人材が高学化・多様化するなか、大学は教育内容を充実し、学生が徹底して学ぶことのできる環境を整備する必要があります。その為に従来の「知識伝達型の授業」から、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく「能動的学習」や、双方向の講義、演習等の授業を中心とした教育への質的転換を促進する事が必要であります。このため十分な質を伴った学習時間を欧米並みの水準に増加することや、学修支援環境の改善などにより、社会の期待に応える学生を送り出す責任があります。

最近20年間わが国の大学進学率は56%へと大幅に上昇してきました。しかしこの進学率の上昇は日本だけでなく、他の主要国でも皆大きく上昇し、先進国の中で日本の進学

「私学を巡る厳しい環境」

現在わが国は18才人口が110万人へ減少する中で、大学は250校増加のため大学全入時代を迎え、さらに志願者が東京、関西の有名、大規模校へ集中するため、地方の中小規模232校(45.8%)が定員割れとなっております。この様に私学を取巻く厳しい環境の中で大学として最も重要なことは「学生に魅力ある大学、就職に強い大学」になる事です。その為には、教育内容を充実強化し、学士力を十分に身につけ就職させる事です。そのため教職員が「私学危機」の意識を持ち、大学の充実強化に努め、この厳しい時代を切り抜けるため努力される事を、年頭にあたり全教職員に特にお願いする次第です。

「成長の最大の資本は人である」

愛知学院大学の昨今では、東海3県に加えて静岡県出身の学生が約7割以上を占めております。地方を支える中核人材を供出するのは、地方の私大だと思います。大学が多く、「少子化」加えて大卒の就職難がとりざたされ、高等教育への進学者が減少しておりますが、これは地方の骨組みを崩す事になりかねません。さらに県庁所在地以外の出身者では、次世代の家族を生み出す為に地元へ戻る事を選択するのですが、都会より、雇用、就職に困難で、田舎へ行く機、公務員、教員・団体職員、それ以外の事

率は各国の平均以下であり、さらに進学率の伸びは最低であります。一方、進学率の伸びの大きい国ほど、経済成長率も大きくなっており、高度な経済成長との関係を明確に示しています。わが国も高等教育を終了者を増加させないと、世界の経済成長についていけなくなります。産業構造の劇的な変化に対応するために、高度な知識を身につけた様々な分野で技術革新の担い手となる人材を育てる必要があります。諸外国が急速に高学歴化し経済力を強化しつつある時に、わが国が現状に甘んじていては、世界の経済・科学の発展に遅れをとる危険があります。そして単に量を増やすだけでなく、教育の内容を充実させ高等教育の質を向上させる事が重要であります。従来の教育方法・内容を質的に転換向上させる事が求められています。



「資本は人材」
後援会 会長 湯浅茂樹

あけましておめでとうございます。重複となりますが、「謹賀新年」「恭賀新年」うやうやしく、謹んで新年を祝う素晴らしい言葉です。私の幼少期、いえ自身では、つい先年と思える本校の学生の頃は、コンビニもファミレスも無く携帯電話もパソコンも無く、ファックスやコピーも身近にはありませんでした。デパート、商店は、年始は休業しており、家は年末に年始の必需品を買い、不便さやうやうやくと読んで受け入れておりました。本年の我が家ですが、長女は韓国へ出掛け、長男は友人と年越しを過ごし、妻は初春大歌舞伎へと浮き立っております。私一人徒然の正月に激しい有為転変のこの頃を想ってみようと思っております。

愛知学院大学は学部の増設、新校舎建設を達成し、長年コツコツと続けてきた、地道な努力により、地方の私大の中では磐石な位置にあります。後援会に参加させて頂くと、日本の子供をなんとかしたい、本大学の子供をなんとかしたい、という声を聞きますが、本日は我が子をなんとかしたいのです。国にも行政にも多々の問題が山積みではありますが、ぐずぐず言わず、まづ学べ、働けと言いたいのが親の本音であります。とりとめもなく書かせて頂きましたが、本年も愛知学院大学の増々の発展と、皆様にとつて素晴らしい年になりますように心からお祈り申し上げます。ご挨拶と致します。

大学改革実行プラン

— 社会の変革の

エンジンとなる大学づくり —

学長 大野 榮 人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。平成26年の初春をお健やかに迎えになったことと存じます。

正月早々申しわけありませんが、本学は目下「教育改革」の直中ですが、「平成25年度私立大学等改革総合支援事業」の選考結果、不選定となりました。

一、私大補助金選定の諸条件 今回の「私立大学等改革総合支援事業」は、「大学力の



向上のため、大学教育の質的転換や、特色を発揮して地域の発展を重層的に支える大学づくり、産業界や国内外の大学等と連携した教育研究など、私立大学が組織的・体系的に取り組み大学改革の基盤充実を図るため経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援する」というものです。

3タイプの改革実行をアンケートで回答するものです。3タイプは次のように分類されています。

(1)「大学教育質的転換型」は、建学の精神を生かした大学教育の質向上、学修時間の確保、学業に専念できる環

境整備などで、具体的には、教学システムの改革(FDの実質化、IR機能の整備等)、ポートフォリオによるきめ細かな支援、アクティブ・ラーニング、高大連携や初年次教育による学力保証、ボランティア活動等の多様な学修、図書館の24時間・土日開館、優秀な学生への授業料免除、学内ワークスタディの充実などが実行されていなくてはなりません。

(2)「地域特色型」は、特色を発揮し、地域の発展を重層的に支える大学づくり、地域貢献、社会人の受け入れ、生涯学習機能の強化などで、具体的には、大学の教育研究を生かしたまちづくり、地方自治体や地元産業界との共同研究、地域課題解決のための教育プログラム、地域の文化・スポーツ振興策との連携、社会人の受け入れなどが実行されていなくてはなりません。

(3)「多様な連携型」は、産業界など多様な主体、国内外の大学等と連携した教育研究、産業界等とのミスマッチ解消、世界で活躍する人材の育成などで、具体的には、PBL・長期インターンシップ、企業等との教育プログラム等の共同策定、産業界等と連携した合同スクラッシュ、大学間連携を通じた先端研究の推進、入学時期の弾力化を通じた国際化、ジョイント・ディグ

リープログラム、海外派遣学生への奨学金、途上国の課題解決のためのプログラム等です。

これらの3タイプの改革が総合的に実行されていなくては、「私立大学等改革総合支援補助金」を受けることができません。補助金を獲得するために、3タイプが実行できる体制を早急に構築すると共に、大学全体の教育・機構・制度改革に取り組んでいかななくてはなりません。

二、大学改革実行プラン

私立大学への補助金は、文部科学省が平成24年6月に制定した「大学改革実行プラン—社会の変革のエンジンとなる大学づくり—」の即実行の指針を根拠に助成されます。

この「大学改革実行プラン」は、平成24年から平成29年までに、大学が絶対に行うべきことを前提に立案されたものです。その後、中教審の「質的転換」答申、「教育再生実行会議」第3次答申、昨年6月の「教育振興基本計画」の閣議決定などが出され、今までの行政の指導とは異なり、実行力が問われており、大学としてのガバナンスが問題となつていきます。今後の補助金などの外部資金を獲得するための絶対条件となっています。

まず、文部科学省の「大学改革実行プラン」の指針を明確にしておきます。大学改革の方向性は、「社会との関わりの中で、新しい大学づくりに向けた改革を次の方向で迅速かつ強力に推進する。(1)激しく変化する社会における大学の機能の再構築、(2)大学の機能の再構築のための大学ガバナンスの充実・強化」です。

この「大学改革実行プラン」は、具体的に、(1)平成24年は「改革始動期」であり、必要な制度・仕組み等の全面的見直しの検討をし、①大学ビジョンの策定による戦略的な政策の展開、②学ぶ意欲を測る大学入試の改革、③社会人の学び直しの推進、④グローバル化に対応した人材育成、⑤大学COC機能の強化、⑥大学質保証の徹底推進、⑦大学のガバナンスの強化などが、既に実行されていなくてはなりません。

(2)平成25・26年は「改革集中実行期」であり、改革実行のための制度・仕組みの整備、支援措置の実施をするため、①学生が主体的に学び、考え、行動する力を鍛える大学教育の質的転換、②大学の研究力強化の促進、③評価制度の抜本的改革、④大学情報の公表の徹底(大学ポータルサイト)、⑤客観的評価指標の開発、⑥質保証支援のための新たな行政法人の創設、⑦高校教育と大学教育を通じた学力の保証などが、それぞれの大学で立案され実行されていなくてはなりません。

(3)平成27・29年は「改革検証・深化発展期」であり、大学改革の取り組みを評価・検証し、大学改革を深化発展させなくてはなりません。「大学改革実行プラン」で「実現すべき人間像」は、①生涯学び続け、主体的に考え、行動できる人材、②グローバル社会で活躍する人材、③イノベーションを創出する人材、④コミュニケーションできる人材を育成することです。

「目指すべき新しい大学像」は、①学生がしっかりと学び、自らの人生と社会の未来を主体的に切り拓く能力を培う大学、②グローバル化の中で存在感を発揮する大学、③地域再生の核となる大学、④生涯学習の拠点となる大学、⑤社会の知的基盤としての役割を果たす大学にならなくてはなりません。

三、教育振興基本計画

平成25年6月に閣議決定されたもので、今後5年間に実施すべき教育上の方策として、4つの基本的な方向性に基づく方策が立案されました。

(1)「社会を生き抜く力を養成する」ため、①学生の主体的学びのための大学教育の質的転換、②課題に対応した学修・学修の質保証と学修成果の評価・活用、③キャリア教育の充実を推進し、(2)「未来への飛躍を実現する人材を養成する」ため、①大学院の機能強化、②外国語教育の充実、国際交流、大学の国際化、グローバル人材の育成を推進し、(3)「学びのセーフティネットを構築する」ため、①学生への経済的支援を充実させ、(4)「絆づくりと活力あるコミュニティを形成する」ため、①コミュニティの形成に向けた学習環境・協働体制の整備、②COC構想の推進などを立案・実行しなくてはなりません。

中部地区 医療・バイオ系シーズ発表会に出展

12月14日(木)に名古屋駅前のウイंकあいちにて「中部地区医療・バイオ系シーズ発表会」が開催され、本学から薬学部の森田雄二准教授、歯学部の内藤孝准教授および伴清治非常勤講師の職務発明を出展した。

本発表会は、中部地区の大学・研究所等の研究者が企業関係者に対して、自身が創作した発明を発表する場として開催されている。



経営学部学生チーム 第13回パッチャルカンパニー・トレードフェアを受賞

第13回パッチャルカンパニー・トレードフェアが、昨年11月24日、京都大学百年時計台記念館で開催され、本学経営学部学生が立ち上げたパッチャルカンパニー(ヘルプ)が本学財団賞を受賞した。

本学財団賞は、公益財団法人本学財団より「科学技術の分野で秀でた事業アイデアを出したチームに授与」されるもの。(ヘルプ)のタバコ吸い殻フィルターリサイクル商品の開発における「微生物を活用したフィルター洗浄技術」が評価された。福祉団体との連携による商品開発も受賞理由の一つとなった。



また、ポスター展示ブースにも多くの企業関係者が来場され、研究者本人や研究支援課員に対して発明内容について熱心に質問があり、今後は企業との産学連携活動が期待される。

保護者向け

就職ガイダンスを開催

3年生の保護者を対象にした「保護者向け就職ガイダンス」が、大学祭期間中の11月2日(土)、日進キャンパス百周年記念講堂で開催された。就職環境が厳しい中、学生が就職活動を進めていく上で保護者の支援も重要な支えになってきている。そのため、保護者の方にも近年の就職環境や本学の就職サポート体制について知っていただくことが今年初めて行われたもので、約430名が出席した。

酒井邦雄キャリアセンター部長の開会挨拶の後、リクルートキャリア「就職ジャーナル」編集長の大黒光一氏が「昨今の就職活動と保護者の役割」と題して、最新の就職活動事情や保護者にできる支援などについて講演した。続いて、吉川吉美心理学科教授による「就職活動期の子子女との接し方」と、木利利行キャリアセンター係長から本学のサポート体制についての紹介があった。

希望者を対象に行ったキャリアセンター見学にも多くの保護者が参加し、関心の高さがうかがえた。また、「自分たちの時代と、現在の就職活動環境の違いがよくわかり、参考になった。」との声が多く寄せられた。

当日は愛学祭開催日でもあり、参加者には保護者向けガイドブックなどの資料のほか、学生運営の模擬店で利用できる学祭チケットも配られ、活気あるキャンパスを楽しんだ。



本を通して人を知る、人を通して本を知る

ビブリアバトルを開催

教養部学習支援室が主催するビブリアバトルが昨年11月22日、日進キャンパス1号館で開催された。

ビブリアバトルとは、一人一冊おもしろいと思った本を持ち寄って、決められた時間内で発表・質疑応答を行い、一番読みたくなった本に投票して「チャンプ本」を決定するというもの。「本を通して人を知る、人を通して本を知る」のキャッチフレーズで、近年各地で行われるようになってきた。



当日は5人の参加者がそれぞれ3分間の発表後、2分間の質疑応答を行い、会場に集まった人の挙手による投票が行われた。固定観念が覆される新鮮さや、読書の原点は幼い頃の絵本、とアピールして見事「チャンプ本」に選ばれた晴山西さんには学長賞として、大野榮人学長から賞状と図書券が贈られた。

受賞者(敬称略)と紹介した本は次の通り。

- 学長賞(チャンプ本) 晴山 茜 (健康科学科4年) 「りんごかもしれない」
- 敢闘賞 本山 健太 (法律学科4年) 「はばたけ、オレの自由ドリ」 宇佐見 啓 (歴史学科1年) 「新撰組頭末記」 阪井 勇太 (宗教学科4年) 「僕の規模な奇跡」

池上 彰氏

日進キャンパスでプレ講義

今年4月から本学経済学部の特任教授に就任するジャーナリストの池上彰氏が、昨年11月25日、日進キャンパスのやまてラスでプレ講義を行った。

プレ講義は会場の前に座った学生11人に質問をしながら進められ、商・経営・経済学部の約270人が受講した。

冒頭で学生に高校と大学の違いについて問うかけ、「高校までは教科書があったが、これが正解というものが無い世の中で、答えを自分で考えて見つけ出していくのが大学での学びだ」と語った。

講義では「アベノミクス」の三本の矢を題材に取り上げて、異次元の金融緩和は具体的にどう進めるか、インフレとデフレの本質、成長戦略政策の難しさなどについて学生とコミュニケーションをとりながら熱弁をふるった。

講義後の質疑応答では、学生から「たくさんのニュースがある中で自分に必要な大事なニュースを見分ける方法」を尋ねられ、「できればインターネットのニュースよりは新聞を読んでみてほしい。コンビニエンスストアのおでんが冬ではなく、9月下旬から店に並ぶのはなぜか、そんな身の回りのものに注意を払ってほしい。」と答えた。

池上氏は4月オープン名城公園キャンパスで、春学期の毎週火曜に「経済学特講」の授業を受け持つ。講義では環太平洋連携協定(TPP)や消費税増税など、現在のニュースを切り口に経済理論について講義する予定で、商・経営・経済学部の学生が受講する。



文学部日本文化学科 明園 劉作勝 准教授画

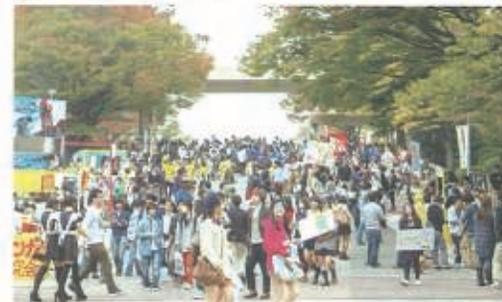
第61回愛学祭

「IKUSA」2013愛学秋の陣

第61回愛学祭は金・土・日曜日に開催したこともあり来場者は1万人を越え、模擬店や室内企画だけでなく、屋外メインステージでの新企画も盛り上りを見せました。「AGUROCKFES」では、本学の軽音楽系クラブが中心となり屋外メインステージでライブ演奏を披露し、多くの来場者を魅了しました。「ダンスSHOW」では、地域のダンススクールに通う子供たちを招き、屋外メインステージでダンスを披露してもらいました。子供たちの活躍を一目見るために保護者ら地域の方にも愛学祭に足を運んでもらいました。

愛学祭実行委員会を中心に教職員の皆様の協力もあり、第61回愛学祭を無事に閉幕することが出来ました。

(学生課 安達 俊哉)



歯学部 林 達秀 講師

25th Symposium and Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine

でベストポスター賞を受賞

2013年11月7日から10日の会期でブカレスト(ルーマニア)で行われた25th Symposium and Annual Meeting of the International Society for Ceramics in Medicine (BIOCERAMICS 25)において、本学歯学部林 達秀講師がベストポスター賞を受賞した。

受賞の対象となった演題名は「rhBMP-2 induces immature muscular tissue to differentiate into bone-like tissue in vitro」である。以前より林講師は、骨形成因子であるBMPを胎仔ラットから抽出した未成熟筋組織に作用させることによって、in vitroで骨を誘導する実験を行っており、未成熟筋組織が骨様組織に分化していることを、これまでの組織、蛋白、遺伝子、元素レベルで証明したに加え、今回の発表では新たにその無機成分および有機成分を化学構造的に解析し、証明したことが高く評価され、受賞となった。

本研究成果の発展は、歯科界のみならず再生医療の進展に大いに貢献するものであり、今後、林講師の益々の活躍が期待される。



図書館情報センター主催 第2回「ブック・アピール・コンテスト」実施

第2回「ブック・アピール・コンテスト」を実施しました。応募総数18作品で、小説、古典、ビジネス本、自己啓発本など様々な分野の本について、アピールしていただきました。各学部から5名の審査委員による厳正なる審査の結果、次の6名の方々が受賞されました。

- ①最優秀賞 1名
文学部歴史学科3年 富田 桃子
『アルジャーノンに花束を』
- ②優秀賞 1名
心身科学研究科 後期課程1年 三ツ村 美沙子
『つるかめ助産院』
- ③佳作 4名
心身科学研究科 健康栄養学科3年 岡本 葉美
『星の王子さま』
商学部商学科3年 今村 公香
『ツナグ』
商学部商学科3年 清水 有梨亜
『ソフトボーイ』
商学部商学科3年 余原 慧美
『デイズニー』
『そうじの神様が 教えてくれたこと』



図書館情報センター
仙石真夕美

催(12月10日~1月17日まで)。さらに、受賞作品の図書については、推薦図書として各5冊ずつ購入し、借り出しできます。是非、学生の皆さんもこの機会に読んでみてください。第3回のコンテストの時には、さらなる応募者増を期待しています。

AGU図書館情報センター・日進市立図書館共催 センター所蔵16ミリ映画上映と講演会を開催

平成22年4月に日進市と本学の官学連携の協定が締結され、様々な交流が深められています。本学図書館情報セン



ターでは、先回の16ミリ映画「日本の文様」に続き、日進市立図書館との共催にて、センター所蔵の16ミリ映画「奥三河の花祭り」(制作・岩波映像)の上映会と講演会を日進市立図書館・視聴覚ホールにて、去る平成25年10月8日(金)日に開催しました。

奥三河の花祭りは、奥三河で大切に伝承されてきた「花祭り」であり、国の重要無形文化財にも指定されています。16ミリ映画鑑賞後、本学名誉教授、赤池憲昭先生による講演を行いました。「奥三河の花祭り」日本人の儀礼感覚を

考える」という演題にて、奥三河の花祭りの解説、さらに日本人の儀礼についてなど、幅広い観点からお話をいただきました。会場の参加者の中に、中設楽の舞手の方がいらっしやう、基本の舞を披露していただきました。会場から大きな拍手で、盛り上がりました(参加者約50名)。平成26年度は、5回目になります。さらに珍しい16ミリ映画の上映と講演会を計画したいと思います。

- 【学長賞】
西田 栄一(文・グローバル英語4年)
太 美善(心身・健康栄養4年)
- 【国際交流センター所長賞】
山内 頼人(総合政策研究科 博士2年)
李 昌鎭(経営学研究科 修士2年)
- 【中日新聞社賞】
目黒 一誠(文・グローバル英語1年)
張 せい文(経営学研究科 修士1年)
- 【長久手市国際交流協会賞】
江原 真理(文・国際文化1年)
- 【日進市国際交流協会賞】
許 眞碩(経営・経営2年)
- 【審査委員特別賞】
高橋 沙耶香(文・グローバル英語1年)
キョウ 立鶴(経営学研究科 修士1年)

11月27日(水)午後1時30分より、日進キャンパス本部棟第2会議室において安居説明会が実施された。当日は12名の掛搭(かた)志願者が参加した。



安居(あんご)説明会を実施

12月7日(土)日進キャンパス・学院会館ホールにおいて、第10回英語と日本語によるスピーチの祭典が開催された。

この祭典は国際交流センター主催で行われ、後援に中日新聞社、日進市国際交流協会、長久手町国際交流協会、御熊谷組のもと実施され、当日は国際交流センター事務長の開会宣言、引田国際交流センター所長の挨拶のあと、英語部門21名のスピーチが行なわれ、休憩をはさみ、留学生14名に

よる日本語部門のスピーチが行なわれた。スピーチ終了後には初の試みで英語によるラウンドテーブル(円卓会議)が行われ、留学生を含む学生14名が「Our City, Our Future」をテーマに熱い議論を交わした。その後、表彰式ならびに懇親会が開催され、各賞の発表の後、上田恒雄実行委員(文学部グローバル英語学科教授)の乾杯挨拶の後、和やかな懇親会が行なわれた。

第10回 英語と日本語によるスピーチの祭典

優勝者には学長杯・賞状、ならびに副賞として賞金3万円(図書券)・記念品が贈られた。受賞者は次のとおり。

- 優勝 石川 幸平(3年)
- 準優勝 中智 峰史(1年)
- 3位 間瀬みづき(4年)

オーストラリアボンド大学 ギャビン真佐子氏による講演会を開催

学術交流協定校であるオーストラリア Bond University Faculty of Humanities & Social Sciences (ボンド大学人文・社会科学部)准教授のギャビン真佐子氏を招聘し、12月5日(木)・6日(金)の2日にわたり講演会を開催した。

講演会は、研究テーマである「大逆事件と安部磯雄」について、日本の社会主義の歴史をお話いただいたほか、ボンド大学と本学との間で続けられている学生・教員間の交流についても紹介があった。また、来年度の交換留学生として本学へ留学を予定している2名のボンド大学生からのビデオメッセージも上映された。

ボンド大学は1987年にオーストラリア初の私立大学としてクイーンズランド州ゴールドコーストに設立された大学。2003年に本学と交換留学協定を締結して以降、本学の学生を交換留学生として毎年派遣しており、同時にボンド大学からの学生を受け入れている。また、夏季休暇期間を利用して約3週間の海外語学研修を実施している。



第32回法学部 学生法律討論会開催

第32回法学部 学生法律討論会開催

法学部が法学部の学生を対象に行っている学生法律討論会が昨年11月12日(火)、日進キャンパス6501教室で開催された。この討論会は毎年実施され、今回で32回目となる。

栗田直樹法学部長によるあいさつの後、事前に発表されている問題について、7名の立論者が各々の見解から意見を述べ、各立論者の発表の後、聴講の学生による質疑応答が行なわれた。

午後からは、講演会を挟んだ後、午後3時10分より討論会の成績発表・表彰式・講評があり閉会した。

就職活動について

4年生の方へ

新年を迎えご家庭では団欒のひと時をお過ごしのことと思います。卒業後の就職先が決定している学生は、これから始まる社会人としてのマナーをはじめ話し方等を研究しておいてください。

また、今も就職活動を続けている学生諸君にはキャリアセンターは全力でサポートしてまいりますので立ち寄ってください。中堅・中小企業は今までに4年生の採用活動を行っており、4年生に対する求人は12月初めの時点で8500社を超え、前年度比20%増となっております。愛知学院の学生が欲しいと言っているだけの企業がたくさんあります。現在でも一週間平均で200社を超える求人が寄せられています。これらの求人はネット上でも確認できますので、これを基に就職活動を進めていくようにご案内ください。

そして、毎日1社ずつ学内で企業説明会を行っていますので、ぜひ参加していただくようご案内ください。この学内説明会は「就職ラストスパーク」と銘打ち、卒業式を迎える3月まで続けてまいります。

最後に、就職が決まっているもののキャリアセンターに報告していない、あるいは未決定で活動状況を報告していない学生がいますので必ず報告するようお願いいたします。

3年生の方へ

昨年11月2日(大学祭中)に3年生の保護者を対象にしたガイダンスを初めて開催いたしました。400名を超える保護者の方にご参加いただき、「今どきの就活を知りましょう」という趣旨のもと、講演及びガイダンスを実施いたしました。ご出席いただいた保護者の方には感謝申し上げます。

さて、就職活動が12月1日、解禁され、各地で企業説明会が実施されております。安部政権の経済政策「アベノミクス」で業績が回復している業界はあるものの、引き続き、採用数を絞る企業も少なくありません。しかし、企業の採用意欲は高まり、「量より質」を重視する大手企業の採用傾向は依然として強くなりそうです。

さて、保護者の方へのお願いです。就職活動は学生自身が遂行して行かなくてはなりません。インターネット上で企業情報を集めることくらいは手伝うことができますが、保護者の方が直接企業に連絡するのはやめて下さい。企業側は、そうした保護者の子どもは嫌います。自分で考え、行動できない学生は採用されません。「子離れ」学生側からすれば「親離れ」が必要です。

今の学生は過酷な環境での就活を強いられます。関心も示さずに「あなたの好きにしてください」と突き放すのはやめてください。まずは大いに関心を持ち、今どきの就

活を知ってください。陰でサポートし様子を見ながら、悩んだり困ったりしているようなら状況を聞いてみましょう。もちろん相談されたら積極的に助言してあげてください。

また、キャリアセンターでは、就活時に使える「履歴書の書き方講座」や「エントリーの書き方講座」など無料講座を数多く行っていますので活用してください。進路相談などはカウンセラーが常駐して丁寧に行っておりますので気軽に利用してください。

キャリアセンター就職課長
伊藤孝真



2014 学内就職セミナー

※各企業・団体の都合により参加日が変わる場合があります

1月28日(火)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	協栄銀行	銀行・証券・保険
2	井村屋グループ様	食品
3	JTBグループ 旅行JTB中部	ホテル・旅行
4	ゆめみず生命保険(日本郵政グループ)	サービス

1月29日(水)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	三井住友銀行	銀行・証券・保険
2	三菱東京UFJ銀行	銀行・証券・保険
3	タカラスタンダード(株)	製造(インテリア・建設・住宅設備)
4	伊勢湾海運	運輸・流通
5	株式会社グループ	カーディーラー
6	株式会社アイエス 中部営業本部	ホテル・旅行
7	凸版印刷	印刷・出版・紙・バルブ

1月30日(木)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	大和証券	銀行・証券・保険
2	東島製パン(株)(Pasco)	食品
3	タキヒヨー	アパレル・繊維
4	セキスイハイム中部	住宅・建設・不動産
5	名古屋トヨペット	カーディーラー
6	高見橋 TAKAMI BRIDAL	サービス
7	愛知県警察本部	公務員

1月31日(金)スクール形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	名古屋銀行	銀行・証券・保険
2	協栄銀行	銀行・証券・保険
3	三井住友銀行	銀行・証券・保険
4	伊勢湾海運	運輸・流通
5	ゆめみず生命	サービス
6	ゆめみず生命	サービス
7	名古屋市長官舎(名古屋市職員)	公務員

1月28日(火)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	愛知信用保証協会	銀行・証券・保険
2	協栄銀行	銀行・証券・保険
3	中目信用金庫	銀行・証券・保険
4	東海信用金庫	銀行・証券・保険
5	東濃信用金庫	銀行・証券・保険
6	西濃信用金庫	銀行・証券・保険
7	東海東京証券	銀行・証券・保険
8	大正製薬グループ	医薬品・医療・化粧品
9	中北薬品	医薬品・医療・化粧品
10	株式会社	医薬品・医療・化粧品
11	株式会社	食品
12	株式会社	食品
13	株式会社	アパレル・繊維
14	株式会社	アパレル・繊維
15	株式会社	アパレル・繊維
16	株式会社	アパレル・繊維
17	三井物産	製造(化学)
18	アパレル	製造(電気・機械・金属等)
19	北川工業	製造(電気・機械・金属等)
20	株式会社	製造(インテリア・建設・住宅設備)
21	株式会社	その他製造・販売
22	株式会社	商社(卸売)
23	株式会社	商社(卸売)
24	株式会社	商社(卸売)
25	株式会社	商社(卸売)
26	株式会社	商社(卸売)
27	株式会社	商社(卸売)
28	株式会社	商社(卸売)
29	株式会社	商社(卸売)
30	株式会社	商社(卸売)
31	株式会社	商社(卸売)
32	株式会社	商社(卸売)
33	株式会社	運輸・流通
34	株式会社	運輸・流通
35	株式会社	運輸・流通
36	株式会社	運輸・流通
37	株式会社	運輸・流通
38	株式会社	運輸・流通
39	株式会社	運輸・流通
40	株式会社	運輸・流通
41	株式会社	自動車・建設機械レンタル
42	株式会社	自動車・建設機械レンタル
43	株式会社	自動車・建設機械レンタル
44	株式会社	自動車・建設機械レンタル
45	株式会社	住宅・建設・不動産
46	株式会社	住宅・建設・不動産
47	株式会社	住宅・建設・不動産
48	株式会社	住宅・建設・不動産
49	株式会社	スーパー・小売
50	株式会社	スーパー・小売
51	株式会社	スーパー・小売
52	株式会社	スーパー・小売
53	株式会社	カーディーラー
54	株式会社	ホテル・旅行
55	株式会社	ホテル・旅行
56	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
57	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
58	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
59	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
60	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
61	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
62	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
63	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
64	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ

1月29日(水)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	株式会社	銀行・証券・保険
2	株式会社	銀行・証券・保険
3	株式会社	銀行・証券・保険
4	株式会社	銀行・証券・保険
5	株式会社	銀行・証券・保険
6	株式会社	銀行・証券・保険
7	株式会社	銀行・証券・保険
8	株式会社	銀行・証券・保険
9	株式会社	銀行・証券・保険
10	株式会社	銀行・証券・保険
11	株式会社	銀行・証券・保険
12	株式会社	銀行・証券・保険
13	株式会社	銀行・証券・保険
14	株式会社	銀行・証券・保険
15	株式会社	銀行・証券・保険
16	株式会社	銀行・証券・保険
17	株式会社	銀行・証券・保険
18	株式会社	食品
19	株式会社	食品
20	株式会社	アパレル・繊維
21	株式会社	アパレル・繊維
22	株式会社	アパレル・繊維
23	株式会社	アパレル・繊維
24	株式会社	アパレル・繊維
25	株式会社	アパレル・繊維
26	株式会社	アパレル・繊維
27	株式会社	製造(化学)
28	株式会社	製造(化学)
29	株式会社	製造(自動車部品)
30	株式会社	製造(インテリア・建設・住宅設備)
31	株式会社	商社(卸売)
32	株式会社	商社(卸売)
33	株式会社	商社(卸売)
34	株式会社	商社(卸売)
35	株式会社	商社(卸売)
36	株式会社	商社(卸売)
37	株式会社	商社(卸売)
38	株式会社	商社(卸売)
39	株式会社	商社(卸売)
40	株式会社	商社(卸売)
41	株式会社	商社(卸売)
42	株式会社	運輸・流通
43	株式会社	運輸・流通
44	株式会社	運輸・流通
45	株式会社	運輸・流通
46	株式会社	住宅・建設・不動産
47	株式会社	スーパー・小売
48	株式会社	スーパー・小売
49	株式会社	スーパー・小売
50	株式会社	スーパー・小売
51	株式会社	スーパー・小売
52	株式会社	スーパー・小売
53	株式会社	カーディーラー
54	株式会社	ホテル・旅行
55	株式会社	ホテル・旅行
56	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
57	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
58	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
59	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
60	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
61	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
62	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
63	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
64	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ

1月30日(木)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	株式会社	銀行・証券・保険
2	株式会社	銀行・証券・保険
3	株式会社	銀行・証券・保険
4	株式会社	銀行・証券・保険
5	株式会社	銀行・証券・保険
6	株式会社	銀行・証券・保険
7	株式会社	銀行・証券・保険
8	株式会社	食品
9	株式会社	食品
10	株式会社	アパレル・繊維
11	株式会社	アパレル・繊維
12	株式会社	アパレル・繊維
13	株式会社	アパレル・繊維
14	株式会社	アパレル・繊維
15	株式会社	アパレル・繊維
16	株式会社	アパレル・繊維
17	株式会社	製造(インテリア・建設・住宅設備)
18	株式会社	その他製造・販売
19	株式会社	商社(卸売)
20	株式会社	商社(卸売)
21	株式会社	商社(卸売)
22	株式会社	商社(卸売)
23	株式会社	商社(卸売)
24	株式会社	商社(卸売)
25	株式会社	商社(卸売)
26	株式会社	商社(卸売)
27	株式会社	製造(化学)
28	株式会社	商社(卸売)
29	株式会社	商社(卸売)
30	株式会社	運輸・流通
31	株式会社	運輸・流通
32	株式会社	自動車・建設機械レンタル
33	株式会社	住宅・建設・不動産
34	株式会社	住宅・建設・不動産
35	株式会社	住宅・建設・不動産
36	株式会社	スーパー・小売
37	株式会社	スーパー・小売
38	株式会社	スーパー・小売
39	株式会社	スーパー・小売
40	株式会社	スーパー・小売
41	株式会社	スーパー・小売
42	株式会社	スーパー・小売
43	株式会社	スーパー・小売
44	株式会社	カーディーラー
45	株式会社	ホテル・旅行
46	株式会社	ホテル・旅行
47	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
48	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
49	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
50	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
51	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
52	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
53	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
54	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
55	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
56	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
57	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
58	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
59	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
60	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
61	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
62	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
63	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
64	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ

1月31日(金)ブース形式

No.	社名・団体名	事業内容
1	株式会社	銀行・証券・保険
2	株式会社	銀行・証券・保険
3	株式会社	銀行・証券・保険
4	株式会社	銀行・証券・保険
5	株式会社	銀行・証券・保険
6	株式会社	銀行・証券・保険
7	株式会社	食品
8	株式会社	食品
9	株式会社	食品
10	株式会社	食品
11	株式会社	食品
12	株式会社	アパレル・繊維
13	株式会社	アパレル・繊維
14	株式会社	アパレル・繊維
15	株式会社	アパレル・繊維
16	株式会社	アパレル・繊維
17	株式会社	製造(電気・機械・金属等)
18	株式会社	製造(電気・機械・金属等)
19	株式会社	製造(インテリア・建設・住宅設備)
20	株式会社	製造(インテリア・建設・住宅設備)
21	株式会社	その他製造・販売
22	株式会社	商社(卸売)
23	株式会社	商社(卸売)
24	株式会社	商社(卸売)
25	株式会社	商社(卸売)
26	株式会社	商社(卸売)
27	株式会社	商社(卸売)
28	株式会社	商社(卸売)
29	株式会社	商社(卸売)
30	株式会社	商社(卸売)
31	株式会社	商社(卸売)
32	株式会社	商社(卸売)
33	株式会社	運輸・流通
34	株式会社	運輸・流通
35	株式会社	住宅・建設・不動産
36	株式会社	住宅・建設・不動産
37	株式会社	住宅・建設・不動産
38	株式会社	スーパー・小売
39	株式会社	スーパー・小売
40	株式会社	スーパー・小売
41	株式会社	スーパー・小売
42	株式会社	スーパー・小売
43	株式会社	カーディーラー
44	株式会社	カーディーラー
45	株式会社	カーディーラー
46	株式会社	カーディーラー
47	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
48	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
49	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
50	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
51	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
52	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
53	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
54	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
55	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
56	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
57	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
58	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
59	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
60	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
61	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
62	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
63	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ
64	株式会社	印刷・出版・紙・バルブ

平成25年度

クラブ優勝祝賀会開催



平成25年度クラブ優勝祝賀会が同年12月4日(水)に開催された。会場となった日進キャンパス・学院会館には、今年度(一部に前年度も含む)の間に課外活動において優秀な成績を取った団体・個人のクラブ部員をはじめ、大学関係者、大学後援会本部役員など多数の参加者が集まった。招待の対象となる団体・個人は、団体の部については日本代表、全日本選手権大会8位までに入賞、東日本・西日本大会などの地方大会にて優勝・準優勝、中部・東海・県大会にて優勝となった団体、また個人の部では、団体の部と同等の基準のほか、最優秀選手賞やベストナイン等の受賞を受けた者など、それぞれの活動において顕著な成績を取ったものが選出され、今年度においては団体表彰54団体、個人表彰112名が対象。開式に当たり大野崇人学長より学生の健闘を讃える挨拶、湯浅茂樹大学後援会会長の祝辞の後、クラブ顧問部長代表として、岡島秀隆ヨット部・少林寺拳法部顧問、クラブ学生代表として、ボクシング部から鈴木慎二選手(法学部法律学科3年)が謝辞を述べ、高木敬一学生部長による乾杯の音頭があり祝賀会が始まった。会の終了時には、全員での校歌斉唱が行われ、和やかな雰囲気の中で進行された後、閉会となった。出席した各クラブの学生諸君については、部員一九となつてさらなる成績の飛躍を目指すことを期待したい。

こども大学 11月17日(土)、24日(土)の2日間、日進キャンパスにて日進市主催の「こども大学」が開催された。

この企画は、本学と日進市との連携協力協定に基づくもので、今年で3年目を迎えた。今年度から日進市役所企画政策課から教育委員会に担当が代わった。企画概要に変更は無く、次世代を担う子供たちの知的好奇心を高める学びの場を提供することを目的に、日進市内在住の小学生4年・5年・6年生を対象に開催され、全国的にも珍しい取組。今回は2週連続の開催ということもあり、昨年度より参加児童数が減ってしまつたが、小学生13名が参加した。両日とも午前・午後の90分の講義が開催された。17日の午前は「みんなで体を動かそう!!」をテーマに水藤弘史・内藤正和・渡辺輝也心身科学部講師と心身科学部の学生によるレクレーションが行われ、昼食後、午後1時より「発明とチームワーク」をテーマに内藤勲経営学部教授による授業が行われ、参加児童を2チームに分けてエッグドロップ(卵を落とさずとも割れないように工夫する。)を行った。24日には「税金と私たちの暮らし」をテーマに中野健秀商学部准教授、岡谷良二講師による授業が行われ、消費税



が来年上がることをテーマに消費税が私たちの生活にどのように活かすのがよいかをKJ法を用いて意見を出し合った。参加した児童、引率の保護者も普段触れる事のない雰囲気や、参加した児童同士もグループで一緒に考えたり、普段の学校とは違った場所での勉強にとっても満足していた。参加した児童、引率の保護者も普段触れる事のない雰囲気や、参加した児童同士もグループで一緒に考えたり、普段の学校とは違った場所での勉強にとっても満足していた。参加した児童、引率の保護者も普段触れる事のない雰囲気や、参加した児童同士もグループで一緒に考えたり、普段の学校とは違った場所での勉強にとっても満足していた。

本学OBの 浦野博司投手

北海道日本ハムファイターズ入団



本学硬式野球部出身で2012年法学部を卒業した浦野博司投手(セガサミー)が、昨年行われたプロ野球ドラフト会議で北海道日本ハムファイターズより2位指名を受け、入団することが決まった。本学在学中はエースとして活躍し、最速151キロの直球と多彩な変化球を武器にエースとして好成績を残し、3年春・4年春にはMVP、ベストナイン(共に愛知大学リーグ)に輝いた。また、大学4年次の春の全日本大学野球選手権大会ではベスト8、秋の明治神宮大会では準優勝という輝かしい成績を残した。浦野君は11月24日に札幌市内のホテルで行われた新入団選手発表で、「ユニフォームを着て子供の頃からの事がかない、わくわくするのと同時に責任を感じています。真っ直ぐで勝負ができる投手を目指します。」と抱負を語った。今後の浦野君の活躍を期待する。

剣道部

全日本学生剣道優勝大会で ベスト8



本学剣道部が、昨年11月4日に日本武道館で行われた全日本学生剣道優勝大会に出場し、男子の部で敢闘賞(ベスト8)を勝ち取った。9月の東海学生優勝大会で優勝して全日本大会に出場した同部は、1回戦で新潟大学に4対0、2回戦で日本経済大学に3対1、3回戦では流通経済大学に4対1と快勝し、準々決勝に進んだ。準々決勝の相手は、今大会で優勝を取った強豪の筑波大学。残念ながら1対6で敗れはしたが、敢闘賞という見事な成績を取めた。

2014年度愛知学院大学入試

「安心Net出願」を導入 本学の2014年度入試は、昨年10月実施のアドミッション・オフィス(AO)入試でスタート。11月には推薦入試も終了し、新年を迎えていよいよ入試本番の時期となる。2014年度入試から学部への入試で「安心Net出願」を導入。「安心Net出願」で出願した場合、全試験で郵送出願に比べて5,000円割引となり、検定料負担が大幅に軽減される。入試試験の詳細は、受験生サイトCampus Navi(「AGUナビ」で検索可)に掲載されている。

愛知学院大学大学院 入試日程

Table with 3 columns: 研究科, 出願期間, 試験日. Rows include 文学研究科・心身科学研究科 and 商学研究科・経営学研究科.

愛知学院大学大学院 入試日程

Table with 3 columns: 研究科, 出願期間, 試験日. Rows include 薬学研究科 and 歯学研究科.

愛知学院大学法科大学院 入試日程

Table with 3 columns: 個別・事前審査, 出願期間, 試験日. Rows include 一般試験 and 法律科目試験.

愛知学院大学 入試日程 (問い合わせ: 入試センター)

Table with 4 columns: 試験区分, 学部・学科, 出願期間, 試験日. Rows include 前期A, 前期B, 前期M, センタープラス, センター試験利用試験Ⅰ期, センター試験利用試験Ⅱ期, 後期試験.

【注1】試験日は出願時に選択してください。試験日が異なれば同一学科および他学科を併願することができます。